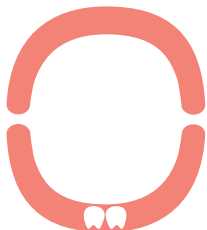




舌食べ期

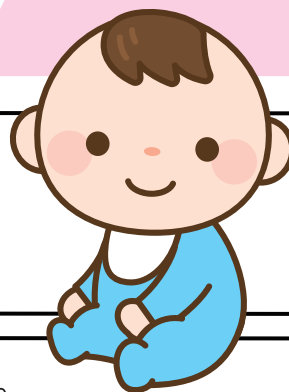
7~8ヶ月頃

お口の中



体の発達

- 下の前歯 2 本が生えます。
- 下の前歯は舌が前に出ない為の役割をします。



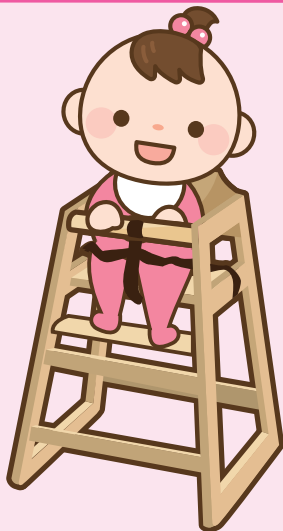
- 指を伸ばして物をつかもうとする。
- 何でも口に入れたり、噛んだりする。指を使ったり、頬で感じたり、口の中に入れたりして五感が育ちます。
※誤飯の恐れがある物は× 無理やりやめさせるのは NG
- だんだん背を伸ばして手を離して座れるようになる。

MEMO

8ヶ月頃には上手に座れるので、食事を食べさせるのも楽になってきます。
この時期は舌と上あごを使って食べ物をつぶしたり、舌で食べ物をひとまとめにする動きを覚える時期です。口唇をしっかりと閉じていることもチェックしましょう。

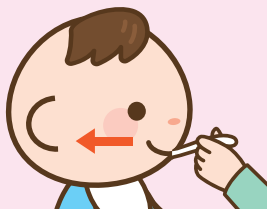
食材のやわらかさは舌でつぶせる硬さの物にしましょう。
舌とお口周りの筋肉を使う練習になります。

食べさせる姿勢



- いすに座らせましょう。
- 舌と上あごに押しあててつぶす時に力を入れやすいように足の裏が床やいすの補助板にぴったりとつくようにしましょう。
※機嫌が悪い時に座らせるといすからずり落ちてしまい危険なので注意しましょう。

スプーンの使い方



- ① 平らなスプーンを下唇に置き、上唇が閉じるのを待つ。
- ② 自分で引き抜いてくれる。
口唇が左右同じように伸縮し、上下唇がしっかりと閉じてうすく見えたら、食べ物を舌で押しつぶしているサインです。

舌は前後運動に加えて上下運動が上手に出来るようになります。

